

1 まちづくり懇談会 三郷

日時：平成 29 年 11 月 30 日（木）午後 7 時～8 時半

場所：三郷コミュニティセンター

4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 平成 17 年、三郷町の人口は 2742 人。少しずつ減り、平成 28 年、2455 人。世帯は 815 世帯から順に増え 861。この 2 年は少し減り 855。1 世帯当たり人口、平成 17 年 3.36 人、平成 28 年 2.87 人。恵那市の平均ぐらいだ。

恵那市全体で 9.6%落ちている。三郷町は、平成 17 年を 100 としたとき、ほぼ平均的な位置にある。三郷町より上には、大井、東野、長島、武並、岩村。三郷町は 6 番目。出生数は、平成 17 年 14 人、14、17、16、11、13、15、12、14、20、13、14、11。ものすごく減っているとは言えない。年によってばらつきはある。今のところ踏ん張っている。この数字を保ってほしい。

三郷町の地域について。

三菱電機伊丹製作所、第 3 期恵那テクノパーク。私は市役所の職員のとき造成からかかわった。その節には大変お世話になった。副市長も担当だった。今では工業団地、テクノパークの中でもトップクラスの会社だ。

私も副市長も一緒になってやった、ユニオン機工の誘致。恵那市の新しい条例を作った第 1 号で、市外からの本社移転を含めたものだ。従業員は今 186 名で野井にある。今でも会社の方々には大変喜ばれている。三郷の方々に大変お世話になっている。

ユニオン機工のすぐ近くに恵那西工業団地を予定している。全体の開発面積 19.5ha で 3 区画の予定。榎ヶ根公園を通り、西中学校の上を抜けた先にある。瑞浪恵那道路の予定の区域がある。瑞浪恵那道路ができれば道路直結の工業団地になる。鋭意開発を進めている。

らっせい三郷のオープンは平成 13 年。来客の数は 65 万人。県内の道の駅で堂々 1 位。従業員も職員もパート 20 名近くで、先週だったか行ったら車が置けなかった。秋は連日大盛況。三郷町を挙げてもっと活用していいし、胸を張って自慢してもいい施設だ。皆さんでもっと盛り上げていただきたい。

ジビエの店ができた。先日中尾さんに会った。処理施設を作ってやられるようになった。これからブレイクしそうだ。瑞浪にはやなぎやという有名な店がある。そこまで行かなくても、恵那市なりで、こういう新しい取り組みがされることが素晴らしい。

見守り・避難計画をやられた。三郷町の防災研修会が今年7月3日で、私は参加できなかったが、岐阜県も市も入れて地域の方々と、95人で要援護者を含めた避難計画を作られた。恵那市でも先進的な取り組みだ。

愛の会。学童や高齢者のサポート活動をしている。200人を超える会員がいる。地域のためにやられている。ほかの地域にもちよくちよくこうした取り組みがある。三郷町は先進的だという印象がある。

寿老の滝。1万人を超えるという。素晴らしいところだ。オープニングには私もお邪魔している。もっと伸ばしていきたい。

今年の4月、殿畑祭りにお邪魔した。つつじ山がきれい、馬にも乗せていただき、大変楽しかった。地域の皆さんが力を合わせてステップアップされていることが素晴らしい。これがどれくらいブレイクするか分からないくらい可能性がある。

この前の日曜日の軽トラ市。これで5回目。次回はぜひお邪魔したい。いい取り組みだ。

移住希望者との交流。あんじやないの家。名古屋から2家族が来た。移住される人の気持ちが分かる。来れば良さが分かるということだ。

コミュニティセンターのすぐ上にある山小屋、山下さん。市役所で私も移住定住の担当を1年やったときお会いした。恵那に来て店を開いてくれた。成功している事例だと思う。三郷町で山下さんたちを前面に出すといいと思う。

県道66号歩道設置工事。27年から始まり平成33年に完成予定。29年度は1600万円の事業費で今やっている。

418号のカーブの所は平成30年完成だが29年度も一部工事をしており、今年5300万円の予定で県恵那土木でやっている。

川上林道、東濃牧場に上がる場所。災害復旧で29年度も371万5千円。すでに事業を発注している。今工事をしている。

三郷町の農業。農地382ha、うち60haが耕作放棄地。15.7%。市平均より若干多い。6、7枚に1枚が耕作放棄地。皆さんそれぞれの立場で考えていただきできることがあれば市も一緒にやりたい。

5. 意見交換

■司会 地域自治区から三郷町の課題2点につき話す。

農業振興について

■渡会あきよし 農業の現状と提案について。私は椋実自治会長をしている。

三郷は自然や環境がよく、アルプスや御嶽山を望むのどかな田園風景があるところだ。農地が良好に保全され景観がいいところだ。聞くところでは、移住者の住みたい町だということだ。農に関しては概ねほ場整備が実施され、農地の区画、農道、用排水路の整備が進んでいる。また、中部用水、庄内川・土岐川源流の清らかな豊富な水に恵まれている。営農組合も、野井地区は農事組合法人、野井営農組合、佐々良木地区には西営農組合、深瀬営農組合などができており、数名の担い手の農家もあり、農作業の受委託等を行っている。栽培作物は、水稻、コシヒカリが主作物で、特に三郷の米麦生産組合は県内のコシヒカリの種子をほぼ全量供給している。

それから、年間70万人が訪れるそばの里らっせい三郷直売所では、四季折々の野菜の販売、また地元で生産されたソバを提供している。ハウスでのトマト、キュウリ、イチゴなども生産されている。

現在三郷町は高齢化率が36.9%と市平均より3.6%高い。私の住んでいる椋実では5年前人口が176名だったのが146名になった。17%の減少。実際は施設等に入っている人もいるのもう少し少ない。三郷町は6.6%の減少。恵那市全域でも6.1%の減少で、特に椋実は人口減少が著しい。農家、営農組合の組合員のますますの高齢化によって、耕作放棄地の増加、山間部の農地の荒廃がますます進んでいくと考える。それと同時に、イノシシやシカの被害も増加している。国の農業政策も平成30年度から米の生産調整の見直しを検討しており、米の生産目標の配分をやめるのに伴い、生産調整参加メリットとなっていた10a当たり7500円の米の直接支払交付金も廃止されるようだ。今後ますます農家の生産意欲が減退し、保全機能維持、景観保全のための農地の維持管理も困難となることが危惧されている。生産性の低下、農村機能の消滅、限界集落、そうしたことから自治会組織の運営も既に困難となりつつある。10年先や5年先には本当に消滅してしまう恐れもある。今後三郷、恵那の農業が生き残るためには、農産物の差別化、ブランド化を推し図ること、土岐川・庄内川の源流で栽培されたおいしい米、それから、2年連続で取得した食味値特Aのコシヒカリ、また不耕起栽培や無農薬、低農薬栽培をアピールし、付加価値のついた農産物を生産することが必要だと思います。

荒れた田んぼの耕作放棄地の有効活用、荒廃地の活用も今後みんなでアイデアを絞りたいと思う。小坂市長にはハード、ソフトの両面から、関係機関も含めご支援をいただきたい。一番は人。そこで暮らす人が活気があり幸せに暮らすことが大事かと思う。まさに、たべる、くらす、はたらく。よろしく申し上げます。

移住定住対策について

■小木曾かずひこ 三郷町の佐々良木区中組第2自治会長をしている。

定住促進住宅に建設について。平成 27 年 6 月に三郷町は自治区で定住促進住宅の建設に立候補したそう。今年度、私たちを交え、新たに建設委員会を立ち上げ、9 月と 10 月の 2 回、委員会を開いた。そこで委員から意見がいろいろ出た。最終的に辞退した。定住促進住宅は入居に条件がある。入居して 5 年以内にその町内に定住する意思のある人が対象になる。三郷町にこの住宅を建てて、恵那市の補助をもらい月 2、3 万円で暮らさせてもらうが、5 年以内にその住宅を出て三郷町に家を借りたり買ったりして住めということだ。そこで問題になることがこれから述べることだ。

空き家に関して。空き家になったり人がいるかどうか分からない建物がちょこちょこあるように聞く。しかし中には不動産の手続き、家の中の片付け、特に仏壇が置きっぱなしの家がたくさんある。それが大変面倒だ。それと、もし家を解体するとなったら、すごくお金がかかる。それで売却しようとする人が少ない。せつかく恵那市以外から三郷に移住を希望している人があっても、空き家がなくて、空き家に関しては諦めてもらっているのが現実だそう。

余談だが、飯地町に定住住宅がある。平成 24 年に建設された。3 軒入居されており、そのうちの 2 軒が 5 年の期限が迫って、少し前に出たが、残念ながら飯地町外へ引っ越した。理由を聞くと、飯地町内で住みたい場所に家を建てられなかった。住む場所がなかった。自分の子どもと同世代の子が飯地町には 1 人しかいなかったの子どもにはかわいそう。恵那市には申し訳ないが出て行くと言われていた。1 組は市外へ、もう 1 組は市内だが飯地町外へ行った。

本題だ。三郷町で住宅を建てようとする、やはり建てる土地がない。耕作放棄地に家を建てようすると農振法がネックになる。せつかく御嶽山が見えるいいところに放棄地があっても、農振があつて建てられない。中には田んぼの所有者があつて今作っているが高齢になり跡継ぎもないので誰かに買ってもらいたいという人もいる。皆さんも草ぼうぼうの放棄地を目にしていると思う。何とか恵那市で、たとえば農振法を解除するには、第 13 条 2 項の 5 要件、恵那市の除外基準 7 要件をクリアしないと無理。それと、恵那市の農林部で「住むとこ探すプロジェクト」をやっているが、絶対にここに家を建てるのでという計画があつてかつ農振除外の 5 要件を満たせば恵那市が動いてくれるというもので、しろうとには難しいことばかりだ。私たち委員にいい土地があるということで、上げてやろうとするが、書類づくりが簡単ではない。司法書士をまず頼む。それに払うお金がない。で、やめようかということになる。自分たちでは何もできない。これは私個人の意見だが、耕作放棄地や個人として田んぼを売りたいという人の意思があれば、もう少し簡単に、計画がなくても、いずれは家を建てられるようにしたいからということだけで農振の除外を考えていただけるような法律ができれば、それで開発行為がすぐにでもできるようなことを、恵那市で考えていただきたい。それには建設業者は不動産屋と話をしながら、これな

らいけるというお墨付きをもらってという話だが。県や国がだめだということではなく、抜け道を見つけてやってもらいたい。農振は戦後すぐにできたものだ。もう平成も終わる。そんな時代にいつまでもこういうものを引きずっているのは理解に苦しむ。

三郷町に移住したいと探している人が本当に多いと聞く。飯地の北住宅の1軒市内に越して行った方も、三郷を見に来たらしい。知り合いがいたので聞かれたらしいが、どこも家を建てる場所がないということで諦めて違う方に行った。少子高齢化する三郷町で、小学生が減ると小学校の統合問題も出てくる。そうなる寂しくなる。今いる小学生も遠いところに通わないといけないことになる。そういうことにも歯止めをかけたい。小さい子どもがいる若者夫婦や、定年を迎えて田舎で暮らしたいという夫婦、いろいろな人たちに定住してもらえるようなことをこの委員会で考えながらやりたいので、市の協力をお願いしたい。

余談だが、私の近所、らっせい三郷の南側に、ここ数年で4軒家が建った。今まで中学生以下の子どもが0だったが、一気に11人増えた。夏場も虫の声しか聞こえなかったのが、母親の怒鳴り声や子どもの泣き声、遊ぶ声で賑やかになり楽しい。それもなぜできたかという、道の駅を作るとき、余分に農振を切っていて、道の駅を縮小したので裏が余り、建てることができたものだ。若く新しい市長がいる間に三郷を何とかしてもらいたい。

もう一つ。三郷町を含む武並、笠置、中野方、飯地、東野も入るかもしれないが、都市計画法があって、接道していないと家を建てられないと。4m以上の道路に2m以上接していないと無理だというのがある。恵南にはそれがないので、自分で道を造れば田んぼの中にも家は建てられる。私たちも頑張るので、町民が楽にいろいろできるように市長にもお願いしたい。

■市長 僕も東野で田んぼが7反ぐらいある。諦めて預けている。今の小さく農業をやっている人を含め、これから先5年、10年後にどうなるかイメージしやすい。先ほど耕作放棄地は8枚に1枚と言ったが、今の農業を支えているのは60代、70代の人ばかりなので、10年後に現状の農地が守られるということはかなり難しい。そういった中で先ほどの提案はその通りだと思うので、先ほどの私の提案をどんどん加速し、いろいろな事例を皆さんと情報共有することで新しい取り組みが動いていくと思うので、そういうことも含めてやっていきたい。

人の話も最後にいただいたので、肝に銘じて考えていきたい。

定住促進の関係で、農振の問題。昨年10月11月の選挙であちこちを回ったとき、ほかの地域でも同じ話が出た。市長になって最初に農振の手続きを見直すようにして、一つ目にできたのが「住むとこプロジェクト」で、市の要件緩和を見直す。まだまだ手ぬるいと思われるかもしれないが、一つずつやり、大丈夫ならまた一つやっというこ

なると思う。少し時間をいただくが、緩和をきちんと直すところは直す。

住むとこプロジェクトとは別に、移住定住での農地の取得の要件緩和をしているので副市長が説明する。

■副市長 移住定住で来た人が、3反要件で、3反やらないと農地が自分のものにならなかったということがあったので、来年の3月に、移住定住に限り1aにする。議会にはまだ説明していないがそういう考え方だ。

意見交換

■佐々良木区書記会計・小木曾のぶお 先ほど基金と負債の話があった。貸借すると0に近いのだろうが、加えて市民税が毎年高騰しているということにならないか。働く人が少なくなっていくと市の税収は減っていく。恵那市は財政収支があまり良くないということだと、事業を行うには、今0金利なので、市債で運用すればいいのだろうか、どうしても税金が上がる。となると、将来的に、年金暮らしになると困る。市長の考えを聞きたい。

■市長 政治家としては税金は上げられない。ただ、市民税は、日本中の市町は国が定めた税率に従ってやっているの、恵那市だけ上げるとか下げるとことは不可能に近い。名古屋市は減税日本という形でやっている。珍しいケースだ。恵那市は他市と同じだ。生活コストが恵那市は高いと言われていることがある。水道、下水、介護保険料などを調べたが、他市と比較して高いという印象はない。ただ、中津川、多治見から来たら高いと言われるので引き続き調べる。アパート、住宅費は高いようだ。税金が上がることは当面はない。

■司会 農振除外の話などがあった。私の近くに国立長寿医療センターの先生がいる。現役は引退している。全国で講演をするとき言うことは、行政の市長は、国や県とけんかをしてでもそういうことをちゃんとやって、さっき小木曾さんが話したようなことをやらないといけないということだという。

■野井区長・森井 農振のことは3年前から僕も言っている。

西部地区、武並も含め、これからの時代も含めて考えると、名古屋に一番近いのは武並駅、三郷だ。山岡とすぐつながっている。武並駅周辺をどう考えているか。あそこを大事にしたい。現在も名古屋に通う人がたくさんいて、ほとんど大井には停まらないので武並まで車で来てそこから電車に乗る。山岡、笠周からも武並駅に来る。ある程度長期的な見通しで地域全域、その辺を含めて、瑞浪恵那道路もかかわると思うが、総合的な開発をすることが必要だと思う。どう考えているか。

■市長 武並駅、特に南側のことだと思う。武並町の地域懇談会でもこの話が出た。ぜひ検討してほしい、私たちも協力すると言った。市長になり新丸山ダムから418号の改良、瑞浪恵那道路の改良の話为国や県とやっているが、特に418号は八百津から飯地に付け替

え国道で入り、その後県道 418 号の整備に入る。南北の幹線の骨格だ。これが山岡に生き上矢作に入り長野県に入る。可能性があると思うのは、南北の山岡、飯地が縦につながるということと、リニアで、坂本駅から見ると、杉浦千畝記念館を含めた中濃方面への交通ルート、特にバス、トラックが走れるルートとして期待が高い。もう一つは、東西は 19 号ではなく瑞浪恵那道路になると、駅の南を通るので、武並駅辺りが縦横の交差部の近くになる。そうすると、リニア駅までは 2 駅で、非常に交通の要衝になるという印象がある。武並駅は大切に、無茶な開発をせず計画的にやるのがいいと思っている。三郷からも意見をいただき一緒にやりたい。

■野井区長・森井 武並の皆さんとも、西部地区の振興協議会でそういう話をしている。

■司会 今後行政に意見があれば広報恵那に折込はがきがあるのでそれを出してもらいたい。あるいは、地域計画の意見、提案があれば、お手元のアンケート用紙に書いて振興事務局に出してくればよい。

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 長時間ありがとうございました。ご用意された意見も含め持ち帰り、担当課とともに検討する。意見は後でも届けていただきたい。意見は地域で取りまとめていただいて書類として届けていただくことも大事だ。

■地域協議会副会長・小木曾ひでき 寒い中ありがとうございました。市長から政策の説明があった。はたらく、たべる、くらすに共通するのは、人口減少の歯止めをどうするかということが重要だということがよく分かった。私どもも人口を増やすことを考え皆さんと協力しながらやっていきたい。今後も市の皆さんにはお世話になる。

[閉 会]